



## 南アフリカ共和国と日本は、どんな結びつきをもっているの



日本が、工業原材料の金属や石炭を輸入し、工業製品を輸出する結びつきが中心だよ。

南アフリカ共和国は、1652年以後、最初はオランダ人、次にイギリス人が、アフリカ人の土地をうばってつくった国です。1911年から1991年まで、アパルトヘイト（人種隔離）という人種差別の制度が行われ、少数の白人が多数のアフリカ人を支配していました。1994年からは、アフリカ人の政権が続いています。

### 貿易での結びつき

南アフリカ共和国は、石油以外の鉱物資源が豊かな国です。金・白金（プラチナ）・マンガン鉱・クロム鉱などの世界一の生産国で、石炭・ダイヤモンド・鉄鉱石・鉛・ニッケル鉱・アンチモン鉱・ウラン鉱・りん鉱石などの生産でも、世界の上位にあります。日本にとって南アフリカ共和国は、工業原材料の金・白金・鉄・銅・アルミニウム・ニッケル・パラジウムなどの金属や、石炭の重要な輸入先です。日本からのおもな輸出品は、機械機器などの工業製品です。

### 貿易以外の結びつきも強くなってきた

南アフリカ共和国は、アパルトヘイトを行っていた時代に、世界の国々から非難され、国際連合から制裁を受けたりしていました。そのため、日本と南アフリカ共和国の間の、貿易以外の結びつきは発展せず、たがいに大使を派遣していなかったのです。しかし、アパルトヘイトが廃止されて以後は、正式な国交が始まり、たがいに大使を派遣しました。南アフリカ共和国の大統領や副大統領が日本を訪問したり、日本の外務大臣が南アフリカ共和国を訪問したりしています。日本からの経済援助や技術援助も、行われるようになりました。